

# 広報 いしかり

平成23年12月発行 第34号  
石狩森林管理署 広報

## 遊々の森「かがやきの森」で全児童が森林学習

### 千歳市立泉沢小学校

9月22日、9月28～30日、10月18日の計5日間、「遊々の森」として石狩森林管理署と協定を締結している千歳市立泉沢小学校の「かがやきの森」で森林学習を行いました。今回は、学年ごとに学習メニューを決めて、全校児童の約340名が森林学習に参加しました。



1・2年生は、学校の中庭でポット苗作りを行いました。1年生はハルニレ、2年生はミズナラのポット苗を作り、直筆の名前札を立てました。

3年生は、枝打ち作業を体験しました。石狩地域森林環境保全ふれあいセンターからも4名お手伝いいただきました。ノコギリを初めて使う子ども達が多く、ヘルメットのあごひものしめ方など一苦労している様子でしたが、徐々に手付きもよくなり心地よく作業をしていました。

4年生は、学校中庭の樹木で、測竿等を使い樹高を測ったり、輪尺等を使い胸高直径を測るなどの実習を行いました。

5年生は、植樹体験を行いました。昨年生徒が作ったカミネツコンを一人一個ずつ持ち寄りカツラの苗を「かがやきの森」に植樹しました。また、葉っぱの形を頭にいれながら樹種あてクイズも行い

ました。

6年生は、学校内で、住友化学(株)の記念植樹用に一人二個カミネツコン作りを行いました。

今後、子ども達に「遊々の森」を活用してもらいながら、森林の大切さなどの学習をサポートしていきたいと思えます。

(松坂 森林ふれあい係長)



# 新たに「住友化学株式会社アグロ事業部」と協定締結

## 地元の千歳市泉沢小学校生徒も招待され 植樹実施



8月23日、石狩森林管理署において、「住友化学株式会社アグロ事業部」（貫 和之事業部長）と森林整備協定を締結しました。協定箇所は、平成16年の台風18号被害跡地であり、植樹からの復旧活動を行う社会貢献の森「スミチオン剤50周年記念の森」と名称が決まりました。

協定の締結は住友化学株式会社アグロ事業部流通企画グループの村瀬氏と、また森林づくりのサポートとして森林再生技術研究所の水正代表と森林づくり覚書の締結をしました。

また、10月5日には、協定箇所である千歳国有林5335林班（協定面積2.58ha）において植樹が行われました。東京から来られた住友化学株式会社アグロ事業部の宮芝 営業部長からご挨拶があり、植樹指導後に、アカエゾ・トドマツ・アオダモ・ヤチダモ・ミズナラ・カツラ・シラカバ・ハルニレの約1100本を植樹しました。

植樹当日には、住友化学従業員・家族約25名と、地元千歳市立泉



泉沢小学校生徒も一緒に記念撮影

沢小学校6年生約60名も招待されました。

小学校の生徒は、森林再生技術研究所（ポランティア団体）からの指導も受けながら、森林教室で作成したカミネツコンを持参してアカエゾの苗を植えました。

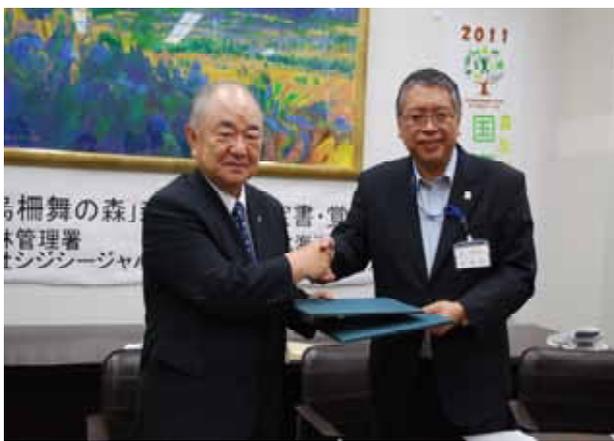
参加人数で予定した苗木をすべて植栽できるか心配もありましたが、予定時間ギリギリまで精力的に実施した結果、予定どおり植栽することができました。来春以降も植樹及び下刈りなど森林整備活動に取り組み予定となっています。

（松坂 森林ふれあい係長）



# 国際森林年を記念して 株式会社CGCと「CGC烏柵舞の森」 協定締結

9月5日、株式会社アークスにおいて、「株式会社北海道シジシ」（横山 清代表取締役社長）と森林整備協定を締結しました。協定締結した社会貢献の森は「CGC烏柵舞の森」と称します。

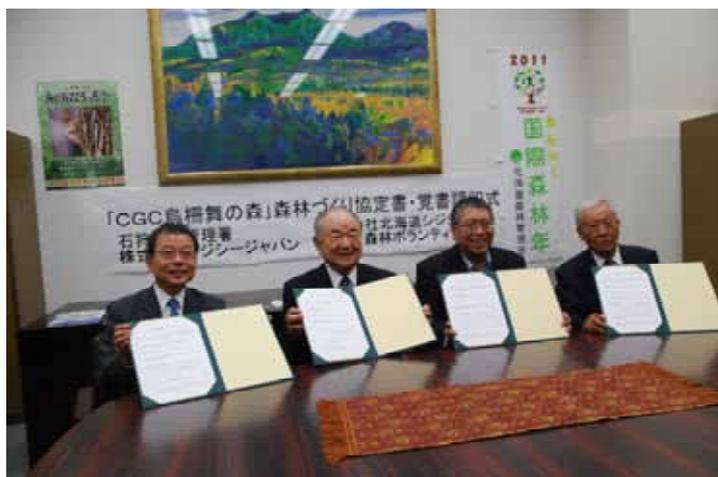


増大する排出ゴミを減量する観点から、レジ袋の削減、マイバツクの特参加が定着しつつある中で、北海道CGCグループ加盟各社では、社会貢献の一環として、このレジ袋の販売代金を当基金を通して環境保全・環境教育、環境研究機関等の事業に助成しており、石狩森林管理署とも平成21年度より千歳国有林において「北海道CGCの森づくり事業」を実施してきました。

今年、「国際森林年」を記念して、新たに、千歳国有林<sup>534</sup>林班、<sup>22.72</sup>haの風倒被害箇所<sup>534</sup>で事業を着手することとなり、来春から本格的に植樹活動など予定しています。また、この事業には、全国CGCグループ代表の「株式会社シジシジャパン」と「NPO法人北海道森林ボランティア協会」が森

林づくり事業に対して協力・支援を行うこととなりました。

（松坂 森林ふれあい係長）



森林づくり覚書の締結  
左から、

- CGCジャパン 上田専務取締役
- 北海道CGC 横山代表取締役社長
- 石狩森林管理署 山本署長
- 北海道ボランティア協会 酒井代表理事

## 「カルビー・ミナミナの森」 雨の日でもニコニコ笑顔で植樹



平成23年10月16日（日曜日）雨模様の中、千歳森林事務所管内の<sup>5374</sup>は<sup>2</sup>林小班において、カルビー（株）社員及び一般公募者約105名の参加により植樹を実施しました。（「ミナミナ」とは「アイヌ語で「ニコニコ笑う」という意味を持ち、社員からの名称公募により採用されました）

この取り組みは台風被害地の復旧のため、平成23年7月4日にカルビー（株）と当署との間で締結した「ふれあいの森に関する協定」に基づき、協定面積約<sup>27</sup>haのうち、今回は約<sup>1.00</sup>haに、アカエゾマツ・トドマツ・ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモのポット苗を約<sup>1167</sup>本植樹しました。（協定期間は平成25年3月31日まで）



参加者は穴掘り役、植付け役・カミネツコン植樹などの担当に分かれ、慣れない手つきでクワやスコップを使用し植えました。今回はカミネツコン植樹も行い、約1時間30分程度で植樹を終了し、参加者全員で隣接した天然林内を30分程度森林散策しました。なお、「カルビー・ミナミナの森」植樹等の活動については、北海道林業技士会のサポートにより実施しております。

（陣内 業務第一課長）

## 「北ガス緑の森」植樹

9月10日（土）晴天の中、千歳森林事務所管内<sup>5335</sup>林小班において、北海道ガスグループ社員及び関係者約190名の参加により、昨年引き続き植樹活動が行われました。この取り組みは平成22年8月に北海道ガス株式会社と石狩森林管理署との間で締結した「社会貢献の森」に関する協定に基づき実施されており、森林再生技術研究所が森林づくり活動をサポートしています。



今回は、協定面積約<sup>9.32</sup>haのうち約<sup>3.00</sup>haにアカエゾ・トドマツ・ヤチダモ・シラカバ・ミズナラ・カツラの苗約<sup>2700</sup>本を植樹しました。昨年参加された方も多く、苗木の運搬・穴掘り役・植付け役など担当を分けて効率よく作業を進めていました。今回も、親子を対象としたカミネツコン作りを実施し、名前・メッセージを書き入れた上でアカエゾの苗を植樹しました。

（松坂 森林ふれあい係長）



## 農地とくらしを守る緑を造成 国有防風林に植樹…新篠津村

9月8日(木)に、新篠津村上篠津国有防風保安林(352林班)で、新篠津村上篠津自治会の協力を得て、植樹を実施しました。

新篠津村にある防風保安林約37haは、新篠津村長と石狩森林管理署長の間で、「国有防風保安林管理協定」を平成20年12月に締結し、村内の防風保安林のパトロールや不法投棄のごみ集め、植樹などを実施しています。

今回も、上篠津地区において約40名が参加してヤチハンノキを100本植樹しました。



刈払い作業も瞬く間

現地は、台風等により立木が倒れクマイ笹が多く繁茂していた箇所ので、電動草刈り機で植え付け箇所刈り払い作業を行い、その後、事前に林木育種センター北海道育種場から提供を受けた苗木を植樹しました。参加された皆様も手慣れたもので瞬く間に植え終わりました。今後は、苗木が一定の大きくなるまで、保育作業を実施していくこととなります。

(大江 流域管理調整官)



植樹した苗木に印付け

10月24日、「豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議(愛称「みずもり会議」)において、枝打ち作業の体験林業が行われました。

当会では、3年前から自主事業として森林整備・育林体験会を行っており、今年も豊平峡ダムのレストハウス裏側の国有林(234林班)において7名が参加して実施されました。

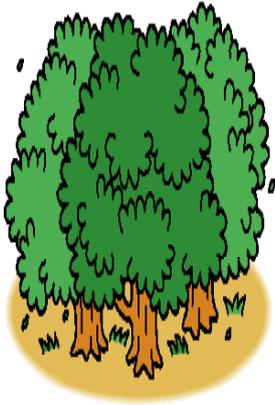
### 「みずもり会議」

## 紅葉時期に枝打ち体験林業



当日は、穏やかな小春日和で、作業現場まで行くために展望台までの歩道を歩くことから、その間紅葉狩りの観光客と多くすれちがいました。作業は、最初のうちは慣れない様子でしたが、すぐに能率も上がり精神的に作業が進められ、作業後は太陽光が十分入る明るい森林となりました。

(松坂 森林ふれあい係長)



## 全校生徒で森林学習 支笏湖小学校

10月14日、千歳市立支笏湖小学校の児童が小学校体育館で森林学習を行いました。

支笏湖小学校とは、「遊々の森」として平成21年1月に協定を締結しており、学校裏の6180林班外に設定されています。

全校生徒11名中9名が、支笏湖周辺の台風災害・復興の森林づくりや森林の効用などについて学習しました。また、カミネツコンを25個作成し、そこにカツラのポット苗木に土を入れて移植しました。



何度か作成した経験のある生徒もいることからテキパキと作業が進みました。

移植したカミネツコンについては、現地が遠距離にあることなどから生徒を連れて行くことができませんでしたが、支笏森林官などで当日現地に植樹してきました。

(植樹箇所は復興の森として選定している苔の洞門の道路向かいの湖畔側<sup>6031</sup>林班)

(松坂 森林ふれあい係長)

## 千歳中学校の生徒が 千歳森林事務所を職場訪問



2011・国際森林年

10月25日、千歳市立千歳中学校の生徒5名が千歳森林事務所を職場訪問しました。千歳中学校では、1年生の「総合学習の時間」においてグループに分かれて各職場を訪問し学習を行っています。

当日はあいにくの雨で、事務所内での学習となりましたが、「国有林は何のためにあるのですか」などたくさん質問が出されました。

また、空中写真をのぞいたり、カミネツコン作りなども体験しました。

後日、生徒よりお礼の手紙がきていましたので、一部紹介します。「拝啓、(中略)先日は私達千歳中学校一年四組四班5名をあたたく迎えていただき、本当にありがとうございました。ありがとうございます。本当にありがとうございます。自然の素敵さを感じている」ところだと私は思いました。(中略)私達は今回、石狩森林管理署に行き、見学や質問をさせていただいた事を模造紙にまとめ、班ごとに発表する学習を進めています。本当にありがとうございます。」

(松坂 森林ふれあい係長)



## 「J.Tの森」・積丹

### 森林保全活動（秋）

平成23年9月10日（土）に積丹町の町有林内で行われた今年度二回目となるJ.Tの森積丹・森林保全活動にスタッフとして本署3名の職員とともに参加してきました。

（前回、雨男の業務一課長が参加した回には当然のごとく雨でしたが、）晴天の秋空の下、積丹町民、J.Tの職員と家族等総勢180人の参加者が集まりました。

午前部ではチェーンソーでの伐倒を見学してからのカラマツ造林地で鋸を使って全員で除伐を行い、昼食には町商工会女性部手作りの浜鍋とおにぎりでおなかを満たしました。

午後の部では、各班に分かれて、林内での環境生態系調査体験、丸太を使ったベンチ作り、木端を活用したクラフト制作等、参加者も不慣れな作業に戸惑いながらも林業体験を楽しんでいました。

今回のイベントは昨年、積丹町とJ.Tで締結した「ほっかいどう企業の森林づくり事業」による森



林保全協定（J.Tの森）の一環で、石狩森林管理署も積丹町と札幌水源林整備事務所の3者で共同施業団地の設定も行っています。こうした林業に理解ある地元と連携した森林施業をこれからも行っていきたいと思っています。

（齊藤 積丹森林官）

## 「広葉樹の密植・混植による森林再生植樹会箇所」に電気柵設置

9月22日に、積丹町国有林3430林班ろ小班で、『ふるさとの森をつくろう！ 広葉樹の密植・混植による森林再生植樹会』in積丹町積丹国有林「森を歩く」2011国際森林年」を、積丹町と北海道森林管理局が共催して開催しました。

国内外で植樹活動に実績のある横浜国立大学名誉教授宮脇昭氏の指導により、ミズナラ、エゾヤマサクラ、ヤマモミジ、イタヤカエデ、カシワを植樹しました。

このほど、その植樹箇所には大型野生動物防除用電気柵を設置しました。この電気柵は、ソーラーパネルにより太陽光をエネルギーに変換し専用バッテリー（12V）に充電することで、昼夜を問わず稼働できます。

周囲に設置する支柱については、樹脂性のグラスファイバーポールとなっており、ワイヤーについては、幅12mmの耐候性の高い高密度ポリエチレン製ワイヤーで地上から50センチ間隔に3段張りにして侵入する動物が入りづらく、

動物が近づいて接触した場合は電気が流れます。

今回は、24haの周囲に設置でしたが、支柱が打ち込みやすい土質であれば簡単に設置ができ、ワイヤーもクリップ状の輪に通すだけの簡単な構造となっております。

現地には、エゾシカの足跡が見られており、広葉樹の食害を防止する観点から、この電気柵を設置したものであり、今後の経過を観察していきたいと思っています。

（菊地 森林育成係長）



# 新天地へ

2名の職員が新たな職場へ異動となりました。これからも頑張ってください。

※( )内は前職名、併任・事務取扱は省略しています。

## ■北海道森林管理局

総務部 経理課 経理係長

(野幌森林官)

阿部 直也

## ■北海道森林管理局

総務部 経理課 支出係長

(小樽内森林官)

伊藤 克仙

**よろしく  
お願いします。**

8月1日付けで赴任した職員を紹介いたします。

どうぞよろしくお願いします。

- ①出身地
- ②家族構成
- ③趣味・特技
- ④自己分析(四字熟語)
- ⑤なにか一言

森林ふれあい係長 松坂 英徳

①帯広市(中学まで)

②妻

③最近は妻に引きずられ初心者、ゴルフ

④虚心坦懐

⑤営林署の時代以来、久しぶりの署勤務ですので色々教えて下さい。



定山溪森林事務所

首席森林官

村上 清

①北の都芦別市

②独身を謳歌しています。

③でっかいバイクに乗っています。

④捲土重来

⑤現場って本当にいいですねー。



小樽内森林事務所

森林官

菊池 寿幸

①北海道三笠市

②3人(嫁とこども)

③家庭菜園、音楽鑑賞

④「優柔不断」と木村さんに言われます・・・。

⑤みなさんよろしくお願いします。



## 引き続きよろしく お願いします。

8月1日付け異動で、次のとおり担当が替わりました。改めてお世話になります。

※( )内は前職名、併任・事務取扱は省略しています。

## ■業務第一課

経営係長

(森林育成係長)

白岩 昌和

■業務第一課 課付

(定山溪首席森林官)

川村 伸

■業務第一課 課付

(経営係長)

外山 保浩

■業務第二課

森林育成係長

(森林ふれあい係長)

菊地 誠

■野幌森林官

(札幌森林官)

伊藤千代美

## 編集後記

各現場でのちよっとした出来事など、投稿をお願いします。表題写真提供・伊藤 野幌森林官

石狩森林管理署広報委員会

委員長 次長

委員 総務課長

流域管理調整官

総務係長

事務局 森林ふれあい係

住所 〒064-0809

札幌市中央区

南9条西23丁目1-10